

Workato

クラウドサービスやオンプレミスシステムをスピーディーに統合

データ連携や業務プロセスの自動化を実現するiPaaS^{*1}



クラウドシフトを進めるうえで、お悩みありませんか？

データ活用がしづらい

データが各システムに散在するため、各システムへの重複入力やシステム間連携が必要となり、ビジネスの推進に時間がかかる。

システム間連携に 時間とコストがかかる

バッチ処理などの個別開発を行うと、設計・開発にかかる時間やコストが大きく、連携ツール(EAI・ETL)の場合もサーバーの手配や、開発方法の習得に時間がかかる。

利用者の生産性が低下

1つの業務で複数のシステムを使用する場合、何度もシステムを切り替える必要があるため、生産性・利便性が低くなる。

そのお悩み **Workato (ワークアト)** が解決します！

データをビジネスに すぐ活用できる！

クラウド・オンプレのさまざまなシステムをリアルタイムで連携させ、データをすぐに活用可能。これによりビジネスのスピードを加速。

簡単・低コストで システム間連携を実現！

1,000以上のコネクタとローコード・ノーコードでの開発により容易に短時間でのシステム間連携を実現。クラウドサービスなので、導入・拡張時のサイジングや環境変更も不要。

プロセスの自動化と チャットボットで生産性UP！

SlackやTeamsなどのチャットから各システムを操作することが可能になり、システムをまたいだ自動化により生産性が向上。

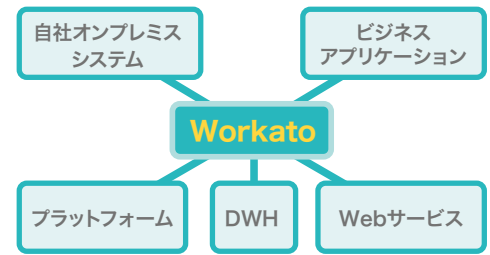
*1 iPaaS(Integration Platform as a Service)は、クラウドで提供されるサービスや、オンプレミスで導入したシステムの連携を実現するサービスです。

システム統合プラットフォームとしてさまざまな機能を提供する Workato の特長

特長 1 1,000以上のコネクタとローコード・ノーコード開発

プログラミング知識を持たない人であっても、さまざまなシステム同士を連携させることが可能になり、時代の変化やニーズに素早く対応

- 1,000以上のクラウドおよびオンプレミスのシステムとの連携に対応。AWSなどのプラットフォームやDWHの統合も可能で、多様なシステムとつなぐことができる。
- ノーコード・ローコードでの開発となるため、ITスキルが高くないビジネスユーザーであっても業務フローの実装が可能。



特長 2 セキュリティ、ガバナンス機能を備えたクラウド環境

スピーディーに導入し、安心して運用ができる

- クラウドでの提供につきサーバーの準備は不要。素早く導入でき、なおかつ運用コストを抑えられる。
- 負荷の高い処理が発生する場合は自動でスケールアウトするため、サーバーのサイジングが不要。
- データは暗号化されており、高いセキュリティを提供。SOC2 Type II にも準拠。
- 詳細な権限設定やログ管理が可能で、高度なガバナンス機能を備える。



弾力性・拡張性



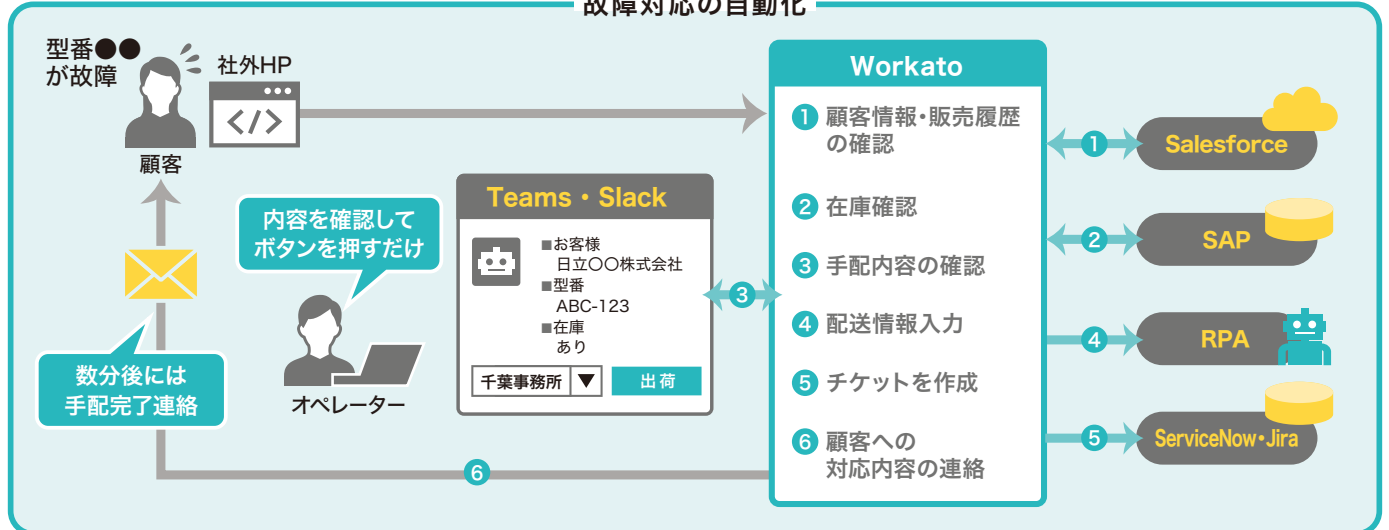
サーバー不要
高性能セキュリティ
ガバナンス

特長 3 業務プロセスの自動化とチャットボット

さまざまなシステム、組織間のプロセスの自動化を実現し、業務効率化を推進

- 各システムへのデータの入出力を正確かつ高速に実行。
- 所要時間の短縮で、顧客満足度を向上。
- チャットボットと組み合わせて人の判断が必要な業務の自動化を実現。
- RPAを自動で起動*2し、API連携ができないシステムの操作も自動化。 *2 日立ソリューションズ独自オプション

故障対応の自動化



グローバルで豊富な導入実績を誇るリーディングiPaaS「Workato」でシステム間連携を促進

※日立ソリューションズは、Workato社と販売代理店契約を結んでいます。

※Workatoは、Workato, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。※その他、本カタログ中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記していません。※製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。※本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。※本カタログ中の情報は、カタログ作成時点のものです。

株式会社 日立ソリューションズ

www.hitachi-solutions.co.jp



本カタログ掲載商品・サービスの詳細情報

www.hitachi-solutions.co.jp/rpa/sp/products/workato/

S19S-04-02 2022.10